

# 新収蔵品による 拡大常設展 開催中



飯泉俊夫「はにわ(巫女)」1989年第21回日展特選



田中良「切り通し」2000年第85回二科展

会期 **3/31** [水]まで

入館料／一般 200 円・団体 150 円／高校生以下無料 ※板谷波山記念館との共通入館券は一般 300 円・団体 250 円  
 休館日／月曜（但し祝日は開館し翌日休館）時間／午前 10 時から午後 6 時まで（入館は午後 5 時 30 分まで）  
 ☎ 23-1601（アルテリオ 3 階）

今年度新たに収蔵された作品を中心にご紹介する展覧会。新たに所蔵となった、二科会評議員田中良氏、東光会常任理事・日展評議員を務める飯泉俊夫氏の油彩画併せて 8 点をご紹介します。田中良先生は、1923 年（昭和 12 年）桜川市真壁に生まれ、現在、取手市在住。茨城県美術展覧会の審査員を始め、二科会会員・評議員として創作活動を続けています。若いころから北海道に憧れ、北の大地を主なモチーフとして大自然の息づかいや空気を感じる風景を描き続けています。本年、作家本人から筑西市の文化振興のため美術館へ 6 点の寄贈を受けました。飯泉俊夫先生の作品は、先生の作品を代表する「はにわ」シリーズから、1989 年（平成元年）第 21 回日展特選受賞の「はにわ（巫女）」他、計 2 点を前市長富山省三氏から美術館へ寄贈されました。



## “市民の善意” エコキャップ運動で、ワクチン 110 人分



筑西市環境市民団体連絡協議会のみなさんによって出荷前の処理作業が行われました。



市役所の玄関などに回収ボックスを設置しています。

途上国の子どもたちに贈るワクチンの資金にしようと、市環境市民団体連絡協議会では 4 月から市役所玄関などに専用ボックス設置して、ペットボトルキャップの回収運動を進めています。

このほど、集まったキャップを同会のみなさんが出荷前の処理作業を行い、「NPO 法人エコキャップ推進協会」に送りました。この中には、保育所や幼稚園、小中学校などで回収し届けていただいた、たくさんのキャップも含まれています。

第 1 回目の引き渡し数量は、219kg（キャップ 87,600 個相当）でワクチンは約 110 人分でした。市民のみなさんご協力ありがとうございました。

【お願い】キャップに付着しているシールや汚れは取り除いて出してください。

■ 問い合わせ 筑西市環境市民団体連絡協議会事務局（生活環境課）内線 404・405

### 編集後記

↑の「エコキャップ推進運動」。小さなキャップを通して未来の環境のことを考えたり、子どもの命のことを考えたり：誰にでもできる社会貢献。ぜひ、みなさんもご協力を。(ま)

交通安全教室で実施された交通事故の再現シーンを見て、事故の恐ろしさを改めて再認識させられました。事故の多いこの時期、今まで以上の安全運転を心がけたい。(悠)

バラのコンクールで何度も受賞している園芸家の小林幸子さん。このたび、「第 1 回花あそび教室作品展」を開催し、収益を市に寄付されました。ありがとうございました。(＠)



▲ 12 月 4 日～6 日、市内のギャラリーで開催された「花あそび教室作品展」。表情豊かなバラのプリザーブドフラワーをふんだんに使った、素敵な作品が飾られていました。